

理科経営

1 研究主題

科学的な思考を高め、やる気をもって主体的に活動する生徒の育成

2 主題設定の理由

昨年度は、生徒の科学的探求心を喚起し、科学的な思考力を高める場を多く経験させることで、主体的に学ぶ生徒の育成を図ってきた。具体的には、導入の工夫やレポート等を活用しての説明活動を重視してきたことにより、生徒の課題意識が向上した点や、根拠をもって説明することができるようになってきたという成果が見られた。今年度は、これらの点を継続し、明確な目的意識をもって科学的な見方や考え方をすることができるよう支援していきたい。そのために、生徒の多様な考えを引き出し、支えていくための働きかけを工夫しながら、主体的に学習する姿勢を確立していきたいと考える。

3 経営の重点と具体的施策

(1) 平成19年度の成果と課題から

- ① 科学的な見方や考え方を高めるための指導の工夫
 - ア 生徒の課題意識を高めるための導入の工夫
 - イ 自ら課題を設定し、課題解決の達成感を味わわせられる場の設定
 - ウ 生徒の意見交換や話し合いを深める場の設定
- ② 課題や実験の意図を的確に読み取り、学習内容の定着を図るための工夫
 - ア 実験・観察のねらいの明確化と、原理の説明の重視
 - イ グラフ・図表の読み取りを含む、基礎的・基本的な内容の繰り返し指導

(2) 個に応じた指導の工夫について

- ① 基本的学習習慣の育成等、授業への参加意識を高める工夫
 - ア 課題解決意欲向上のための課題提示や、発問、助言の仕方の工夫
 - イ 「勝中の授業」を生かした基本的な学習習慣の指導の継続
 - ウ コンピュータ等の視聴覚機器の効果的な活用法の研究と実施
- ② やる気をもって、主体的に活動する場の設定の工夫
 - ア 生徒の興味・関心を高める実験や身近な素材による教材の開発と、生徒一人一人の興味・関心を生かした課題設定
 - イ 「レポート指導」「夏休み自由研究」等の取組の継続と工夫
 - ウ 課題別学習，コース別学習の充実

(3) 評価を生かした指導の工夫のために

- ① 様々な授業形態での授業の実施，指導法の研究
 - ア TTを生かした少人数学習，コース別学習など指導の工夫
 - イ パフォーマンステストの実施と実験レポート指導の充実
- ② 見通しをもって学習に取り組む生徒の育成
 - ア 単元の導入時でのシラバスの活用とガイダンスの工夫
 - イ 学習カードによる生徒の自己評価の活用